

福島県PTA連合会会報
第39号_H07.02.20



「おーい。」子どもたちは21世紀を呼んでいる！

新しい年が明けた。1995年。

そして阪神大震災。神戸をおそった大地震は日本列島を震撼させた。被災された方々には心からお悔みとお見舞い申し上げます。

災害をのりこえて立ちあがろうとする人々、それをささえるさまざまなボランティア、そして全国からさしのべられる支援の手。

家族でテレビを囲み、それらの姿を子供達とともに、みつめた人も多いと思う。

昨年の暮れから続いた「いじめ」問題、国体の開催、4月からの週五日制、教育をとりまく新しい課題はつきない。被災地の方々に負けないで、私たちも力あわせて、がんばろう。

子供達のさけび声に耳をかたむけ、期待に応えていこう。21世紀はもうそこまで。

**21世紀の足音が聞こえる
のりこえよう新しい課題**



第39号

福島県PTA連合会

福島市黒岩字田部屋53-5

福島県青少年会館内

電話 (0245)45-5982

発行人 津野英行

印刷 泉印刷所

電話 57-1071



福島県PTA連合会

近年、核家族化、母親の就業化、少子化が進み、家庭の教育力が低下してきている事が指摘されております。そして今、社会では、いじめが大きな問題となっており、テレビ新聞でも報道され、特に本県や愛知県の中学生在が、いじめを苦に、自ら若い命を絶つたことは、社会的に大きな衝撃と深い悲しみをもたらしました。そしてこれらの事件に対し、さまざまな意見や感想が飛びかい、学校に一方的な過失があるのかのごとく報道されたり、あたかも家庭は被害者のように報道されたりしておりました。静かにふりかえってみますと、我々親は、あまりにも学校に子供の教育を依存

**親が変われば
子供が変わる**



福島県PTA連合会
会長 津野英行

今年も子供達の本当の幸せを実現するため、PTA活動を通してお互いに努力していきましょうか。

会員の皆様におかれましては、日頃より県PTA連合会の活動に対し、暖かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰様で平成六年度の事業も滞ることなく遂行でき、深く感謝申し上げます。

又、会員の皆様には、日頃より子供達を取り巻く教育的社会的諸問題に積極的に対応され、子供達の健全育成のため、PTA活動を通して多大なる成果を上げられておりますことに、心から敬意を表する次第です。

しすぎていたのではないのでしょうか。家庭が、そして地域社会が、子供達の社会での生活態度に一層の関心を持ち、子供の教育に目を向け、子育ての当事者としての認識を強く持ち、いじめや登校拒否に積極的に対応していく必要があるのではないかと思うのです。

子供達を取り巻く社会情勢は大きく変化しております。それと同時に親である我々の周辺も大きく変わってきている事をよく認識し、親自身が変わり、自立していかねば、子供達の幸せを実現していく事はむずかしいのではないのでしょうか。

阪神大震災義援金の御礼とお願い

各単P、郡市連Pが早くから積極的に援助の手をさしのべていただいておりますこと心から御礼申し上げます。どうか今後とも、ご協力ご支援のほどお願い申し上げます。

古代住居や古代米づくり

梁川町・国見町組合立大枝小学校PTA

大枝小学校PTAの活動のひとつとして「ふれあい教室」をご紹介します。特色としては公民館とPTAが連携協力して児童の体験学習の市道にあたっている点です。当地区には縄文時代の古代住居

跡があり、数多くの土器・石器類が出土します。鎌倉時代に源頼朝の攻め入る軍勢を防ぐ目的で構築された二重堀等もあり、多くの歴史的遺産が残されています。それらの遺産について知ってもらい、郷土の歴史に関心を深めてもらうためのひとつの手だてとし



て、地元の考古学について詳しい人の指導で古代住居を作りました。一年から六年までの希望者による教室生が、自作の古代着をまとっての田植えを初め、夏は竪穴式住居で暮らす一泊二日の体験学習。

P単 たん 探 ほうもん

秋には自作の石包丁を使った稲刈り。そして最後には古代の黒米だけの餅つきと、一年を通して古代生活の体験をします。

特に夏休みの一泊二日の体験学習は好評です。山歩きをしながら食用となる野草を採集し、サワガニやザリガニ、はてはウシガエルまで捕まえ、火を起こすことから始まる食事作り。おやつのない一日の中の食事は、何を食べても

「おいしい」の連発です。夜は火を囲み、お話おばさんからお化けの話の聞いたり、夜空の星を見上げながら星座の話も聞きました。便利さが当たり前の今の世の中で、敢えて不便な生活を体験することで、子供達は物のありがたさ、仲間の大切さを知ります。そして地元に豊富な自然が残されていることに感謝の心が芽生え、更に生きるすべを教えてくれた地元の人々へ畏敬の念さえ育ってきています。



来年度からは週五日制が月二回実施となります。学校と地区やPTAとの連携協力による活動がより重要になってくると思います。

この「ふれあい教室」も子供達のアイデアも生かしながら、更に内容の充実を計っていくつもりです。こうした活動が子供達の心に何かを残すだろうことを信じて、今後も続けていくつもりです。

ふれあい重視のバザーへ

福島市立吉井田小学校PTA



▲親子制作「うまい、うまい！」

「十月三十日(日) 晴れ
きょうは、楽しいことが二つありました。」

一つは、学習発表会です。わたしは、げきに出ました。……(略) もう一つは、PTAバザーです。バザーでは、手づくりの品や家庭用品、食料品などたくさん売っていました。わたしは、かわいい手作りの人形を買いました。おばあちゃんにティッシュペーパー入れを買ってあげました。

ピザまん・カレーマン・肉まん、あんまんを売っているコーナーや縁日コーナーもあり、ポップコーンやわたあめを売ったり、くじ引きがあったり、本物のお祭りみたいでとても楽しかったです。

また、お父さんやお母さん手作りの迷路や輪投げ、ミニゴルフ、

つり堀りなどのコーナーもあり、とても楽しかったです。」

この日記にもあるように、本会行事の一つであるバザーは、単に物を買って収益をあげることを目的とするだけでなく、子ども達や親子で楽しめるコーナーを数多く準備し、子ども参加のバザー、親子触れ合いのバザーを実施しています。例年地区民の方や会員の方ももちろんのこと子ども達からも好評を得ています。このようなバザーを通して会員相互の親睦も図られ、互いによく知り合うよい機会にもなっています。

毎年、会員としての教養を高め、資質の向上を図るために、教養講座を実施しています。多い年で年三回開講していますが、本年は創立120周年記念講演として、福島赤

合い言葉は「生徒とともに」

二本松市立第一中学校PTA

本校は霞が城と菊人形で有名な二本松市街地の中学校です。

生徒の教育目標は「自主・自律」で自主的な活動が盛んです。生徒会本部・JRC委員会(青少年赤十字)を中心としたボランティア活動は本校生徒会活動で最も盛んな活動です。

本校PTAも「生徒とともに」を合い言葉に積極的に活動を行っています。その中のひとつに夏休みの活動があげられます。計画は各学友区毎に生徒と共に計画し、



▲カットは美術の先生が描いた「奉仕作業」

柱のひとつに「健全育成」があげられます。夏休み・祭礼時などの街頭補導は非行防止の面から力を入れていますが、近年は特に不登校や「いじめ」の問題を単に現象面と見ず、心の問題として取り組んでいます。今年度は「生徒の悩み」というタイトルで県立医大の先生を講師に講演会を持った他、授業参観の学年PTAや学級PTAの時にも「生徒の心の問題」を必ず話し合うこととしています。

実行しています。その行事もさまざままで区内の清掃、ソフトボール大会・林間学校・お楽しみ大会

などがあり、計画の段階から反省まですべて生徒と相談して行っています。その他に年2回の校庭の草刈り作業がありますが、これも生徒会のJRC委員会とPTA活動の中心的な活動母体の運営委員会が共同で計画しています。このような活動は親子とも大変出席率が高く、親子いっしょのほほえましい活動がいつもあちこちに見られます。

もう一つ本校PTA活動の柱のひとつに「健全育成」があげられます。夏休み・祭礼時などの街頭補導は非行防止の面から力を入れていますが、近年は特に不登校や「いじめ」の問題を単に現象面と見ず、心の問題として取り組んでいます。今年度は「生徒の悩み」というタイトルで県立医大の先生を講師に講演会を持った他、授業参観の学年PTAや学級PTAの時にも「生徒の心の問題」を必ず話し合うこととしています。

さらに本校PTA活動の特徴づけるものに会員の連帯意識の強さがあります。学友区のみならず、情報組織を通じて、また会員個人から学校にもたらされ、生徒指導上大いに役立っています。「自分たちの学校」というのが会員ひとり、ひとりの意識です。

平成六年十月の研究公開時、一心に学習に取り組む児童たちをほほえましく垣間見ながら、参会者の一人一人に愛想よく頭を下げ下げ、まめまめしく働く一人の姿。東京の大学を卒業するや、郷里に帰り、家業の農業を継いだ彼は、米作りに限界を感

じ、一転して花き栽培に取り組み、早く栽培組合を創設。高冷地に適した良質の品種を手がけ、大粒なハウス施設による周年出荷も構

想。この丹精込めた色とりどりの花によって本研究会の会場が美しく飾られ、参会者の目を大いに和ませました。木の香漂う本校の良さを遺憾無く発揮してくれたこの人こそ、

我が校の若きPTA会長長渡部善蔵氏その人なのである。「勉強がよくできることも大切で

ひと わが校の名物会長

田島町立檜沢小学校 PTA会長 渡部善蔵氏



推薦した人

格 校長先生

子どもの教育にしても同じではないでしょうか。子どもの自主性を尊重しながらも目標に向かって本気になって努力するよう仕向けていきたいものです。

会長就任時は、戸惑いと不安を見せていたが、現在、深雪の中に眩しく光るハウスの雄々しい姿を見ると、日々の多忙中にも信念を持って大任を全うしようとする意気込みが、強く感じられてならない。(長沼 格)

十字病院婦長、鈴木祐子氏をお招きし、演題「命を守る」についてのお話を聞きました。高学年児童も参加し、親子で聞く企画でしたが、実際に難民医療に携わった経験を踏まえての話は、子ども達にも分かりやすく、命の大切さや、地球人の一人として人道的立場か

あるが、社会に出て人から評価を受けるのは、なんとと言ってもその人の持つ人間性である。この人間性豊かな児童の育成こそ、本校教育に課せられた重要な使命の一つであり、学校と家庭の

わが校の若きPTA会長長渡部善蔵氏その人なのである。「勉強がよくできることも大切で

肥、消毒、除草等技術体系がよく

ら困っている人のために何ができるのか等について親子共々真剣に考えさせられました。その日の夕食時における親子対話の話題にものぼり、親と子が互いの考えを理解する上でとてもよかったという報告も得ています。

わからず、出荷真際、たった一晩で全滅した苦い経験もあると言う。しかし、旺盛な知識欲と粘り強い努力で今日の成功を得ている。「花作りの喜びは、なんと云っても、手間暇かけてやればやっただけのものではないこと

でしよう。手抜きさえしなければ

意気込みが、強く感じられてならない。(長沼 格)

今年も力強く 生き生きとした作品

4,034 点

第18回 子どもの 災害事故防止 ポスター／習字 コンクール

第18回子どもの災害事故防止習字・ポスターコンクールの審査は去る二月六〜七日行われ、優秀作品が決まった。今年は習字一九八校から三、四三四点、ポスター八一校から六〇〇点の応募があり、審査には、次の各氏があたった。

ゆめ

本郷友理

▲本郷友理(平二小2年)

元気

作山明子

▲作山明子(永崎小4年)

健康

薄井智幸

▲薄井智幸(福大附属小6年)

躍進

渡部恵理

▲渡部恵理(荒海中3年)

桑原兵永(福島大学附属小講師)
小田 雄(元野田小学校教諭)
《ポスター》力丸 毅(元福島四
中学校)
紙面の都合上、一部しか掲載で
きませんが、過日、福島民報、福
島民友でくわしく報道されました。
また、四月の「安全互助会報告書」
で最優秀賞から佳作まで全入選者
氏名をお知らせします。

▼ポスター▲

▽小学校
◇最優秀賞 戸島朝香(白方小一
年) 鈴木祐生(柏城小二年)
松田香菜子(川谷小三年) 渡部
世菜(岡山小四年) 中山衣都佳
(岡山小五年) 渡部修平(桜丘

▼習字▲

▽小学校
◇最優秀賞 えんどう あやか(桃
見台小一年) 本郷友理(平二小
二年) 安田美紀(小名浜一小三
年) 作山明子(永崎小四年)

小六年)
◇優秀賞 斎藤ゆうき(五箇小
一年) 佐原隆広(大沼・旭小
二年) 木村友紀(久之浜一小三
年) 藁谷崇史(白河一小四年)
熊川弘美(赤沢小五年) 旗野尊
勝(福島三小六年)

▽中学校

◇最優秀賞 小山かつみ(湯本中
二年)
◇優秀賞 小山貴子(湯本中一年)



▲中山衣都佳(岡山小5年)

国兼あり紗(いわき・鹿島小五年)
薄井智幸(福大附属小六年)
◇優秀賞 あべ はるな(福大附属
小一年) まくた かおり(山舟
生小一年) みどり川 まさひと
(永崎小一年) 鈴木千晶(福大
附属小二年) 鯉沼映里(白河一
小二年) 五ノ井一平(日新小二
年) 館さやか(福大附属小三年)

深谷弥子(須賀川二小三年) 横
田真依子(横田小三年) 国兼瑛
士郎(いわき・鹿島小三年) 作
山勝一(永崎小三年) 廣田晴紀
(福大附属小四年) 八巻智子(山
舟生小四年) 笹内美希(日新小
四年) 松本育子(江名小四年)
桑折公美子(石神二小四年)



▲小山かつみ(湯本中2年)

▽中学校

◇最優秀賞 古山なつみ(須賀川
三中一年) 加藤詞子(二本松三
中二年) 渡部恵理(荒海中三年)
◇優秀賞 渡辺智幸(富岡一中一
年) 木元優子(仁井田中二年)
箱崎景子(藤間中三年)

近年子どものいたましい災害事
故は増え続けており、各単Pの安
全指導や事故防止の啓もう活動と
して役立ててほしいと願っていま
す。

充実した 研修活動を展開

研修委員会

▽第15回県PTA母親リーダーセミナーを四方面で開催
 ・県北9/10 県青少年会館
 ・県中南11/2 須賀川文化センター
 ・会津10/7 会津若松東公民館



▽県教委主催PTA指導者研修会
 七会場(6/9/9/14)各会場とも二百五十名参加
 △小中別PTA懇談会6/23 各郡市より小中別PTA代表一名参加により盛會裡に終了
 ・小学校「学校五日制について」
 ・中学校「進路対策について」
 △その他日P島根大会、東北P小沢大会、県P須賀川大会等に多数出席

「PTA活動の活性化を図るため、話し合い活動の方法を理解し、運営と活動に果たす母親役員のあり方を深める」をテーマに浜地区母親セミナーが十一月十六日に楳葉町で開催されました。

熊町小から一人の参加というこゝとで心細さを感じ、今日は聴講生と決めて臨みました。しかし、グループ毎のつみ木・自己紹介から始まり、討議演習では、参加者全員が、司会者、記録発表者となる展開には、正直「どうしよう」と思いました。自分も模擬討議で発表を行い、討議の回を重ね、ゲームをするに至っては、心細さもど

こへやら、グループの方々とも相打ち明け、活発な意見交換のうちに時間もあつという間に過ぎていきました。



今までのPTA活動、学級・学年懇談会、各種委員会等で経験したことがなかった会議の持ち方で

「平成六年度優良PTAおよび功労者表彰式」は昨年十一月十八日、東京ホテルニューオータニにおいて約千人の参加者を集め盛大におこなわれた。貴乃花の「不撓不屈、不惜身命」の精神に劣らぬ長い間の努力が、PTAという土俵の中で花開いた人々。これからも子供達の健全育成に力をかしてほしい。本県関係次の通り(父母と教師の会を略します)

- ◇文部大臣表彰(優良PTA)
 ・大信村立大屋小学校
 ・会津高田町立高田小学校

輝く文部大臣・日本PTA表彰 「不惜身命」の功績認められる!

◇日本PTA全国協議会会長表彰
 団体/福島市立吉井田小学校、国見町梁川町大枝小学校組合立大枝小学校、二本松市立二本松第一中学校
 ※この三校の実践について「た

小野輝子(母親代表・会津若松) 箱崎恵子(母親代表・いわき)
 また去る十一月三日には県教育庁の「県教育委員会教育・文化表彰式」があり、次の単Pが表彰をうけた。
 ◇社会教育関係功労 顕著な団体
 ・矢吹町立善郷小 / 会津若松市立鶴城小
 / 田島町立松沢小
 ※松沢小会長を三面「わが校の名物会長」で紹介しました。
 ◇へき地教育功績顕著な団体
 ・猪苗代町立吾妻二小

した。お互いの悩みをテーマに出し合い、共に解決していくには、バズセッションが適しているといわれておりますが、回を重ねるご

会には、まさに適した活動であると思えます。最近はいそがし過ぎるのでしょうか。せつかくの懇談会も出席者が少なかつたり、時間

浜地区

母親セミナー に参加して

「会議の具体的な方法学ぶ」

大熊町立熊野小学校PTA
 副会長 荒岡美恵

とに納得できました。バズセッションは、新学期の役員選出時や夏休み前等の学級懇談

がなかつたりで十分な話し合いや理解し合う場とはなっていないと思います。先生と父母、父母同志

はお互いにもっと話し合うことで、学校での子供の生活も理解することができると思えます。そして先生との信頼関係も深まり、父母同志も我が子だけでなく地域ぐるみで子供達を育ていく連帯感が増々深まっていくものと思えます。
 先生方と私達父母にとって、まずこのバズセッションが大事な一歩であることを痛感し、これからの活動に是非生かしていきたいと思えます。
 今回の研修に参加したお陰で、いろいろな会議の持ち方を勉強できたことはもちろん、浜通りの頑張っている役員さんと交流が持てたことが何よりの収穫でした。



教師と生徒の心の交流 「SPARROW」最優秀!

— P T A 学校新聞コンクール —

第30回県小中学校新聞コンクール(県PTA連合会、福島民友新聞社主催、県教委、県小・中学校長会後援)の審査会と表彰式は過日終了した。今年は30回の記念大会のため二部門で過去最高の104校から200点の応募があり、合わせて25点が表彰された。

PTA会報の部の最優秀には一箕中が2年連続で選ばれ、檜葉北小、岳陽中【左写真】とともに最高水準の紙面作りが高く評価された。

また、学校新聞の部では、守山中3年1組の「SPARROW」が選ばれ、担任と生徒たちの心あたたまる交流が審査員の胸を打った。

いじめや登校拒否など暗い話題が聞かれた時期だけに、石川中の「大橋ブルース」や「一日一歩」など、担任教師の愛称やエピソードから考えたユニークな題名の学級新聞が注目をあつめた。

晴れの表彰校

「PTA会報の部」▽最優秀賞
すずかけ(檜葉北小PTA)しやくなげ(岳陽中)PTA会報(一箕中)▽優秀賞
ほうらい(蓬萊小)こだま(保原小)PTA会報(原町一中)梅のかおり(平二小)▽入選
こだま(高田小)はばたき(一箕小)PTA会報(西野小)いさりび(江名小)手をつなぐ広場(原町一小)しらはぎ時報(謹教小)ひらの(平野小)若あゆ(浪江中)坂道(福島四中)

「学校新聞の部」▽最優秀賞
SPARROW(守山中三年一組)▽優秀賞
向山(松陽中)学校だより「東山」(東山小)▽入選
大橋ブルース(石川中三年二組)一日一歩(同二年五組)安達ヶ原(大平小)学級新聞(渡利中二年一組)

事務局より

平成七年度行事予定

- ◇評議員会6/2
- ◇常置委員会・小中別懇談会6/26
- ◇県事務局会7/7 ◎日P札幌大会8/25
- ◎東北白石大会9/8
- ◎母親リーダーセミナー(県北9/29 会津10/3 県中

PTA安全互助会

「先生の車に石を投げた」とみなさんがおっしゃいます。表は平成六年の一月一日から十二月三十一日までの地区別事故状況ですが、賠償・傷害事故は年々ふえています。児童生徒の加入はせめてB-2型に加入したいものです。くわしいことは県PTA事務局まで(担当/羽田・丹治)

せめてB-2のコースを!!

福島県PTA安全互助会地区別事故状況 (H.7.2.1)

| 区分 | 傷害事故件数 | 賠償事故件数 |
|-----|------------|--------|
| 福 島 | 384 | 4 |
| 達 南 | 43 | 1 |
| 伊 達 | 163 | 5 |
| 安 達 | 265 | 3 |
| 郡 山 | 336 | 1 |
| 岩 瀬 | 141 (2) | 0 |
| 石 川 | 93 | 1 |
| 田 村 | 142 | 3 |
| 西白河 | 220 (1) | 0 |
| 東白川 | 89 | 2 |
| 若 松 | 111 (1) | 2 |
| 北会津 | 69 (1) | 0 |
| 両 沼 | 67 | 1 |
| 大 沼 | 52 | 0 |
| 耶 麻 | 127 (1) | 2 |
| 南会津 | 52 (2) | 0 |
| いわき | 158 (2) | 8 |
| 双 葉 | 135 | 0 |
| 相 馬 | 183 (1) | 0 |
| 合 計 | 2,830 (11) | 33 |

・()は学童の死亡事故件数
・上記件数は、平成6年1月1日～平成6年12月31日までの発生件数

後記

▼あわただしい三月がやって来る。インフルエンザの流行に注意。
▼厳しいことなかにも心あたたまるニュースも多かった。団体選手の活躍、被災地でのボランティアの活動などに心うたれた。
▼春爛漫の光景を頭にえがいて、寒さをのりきろう。三寒四温をくりかえして季節が移っていく。
梅一厘、一厘ほどの暖かさ (風雪)